市民参画計画の確認について

市民参画計画の確認は、以下の視点から行うものです。

白岡市参画と協働のまちづくり審議会条例～抜粋～

(所掌事項)

第2条 審議会は、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 条例第20条の規定による検証に関すること。
- (2) 市政における参画と協働のまちづくりの推進に関すること。
- (3) 市民活動に関する情報を収集し、又は発信する場所の検討に関すること。

(1) 検証

白岡市自治基本条例「自治のあり方」の検証に関する取組指針に基づく検証方法

① 各年度

検証の方法(1)の視点から、市民参画手続の実績を確認する。

② 検証（4年に1度、次回は平成31年度）

検証の方法(1)、(2)それぞれの視点から総合的に検証するため、前回の検証後の期間（平成28～31年度）中の取組状況を確認する。

(2) 参画と協働のまちづくりの推進

白岡市市民参画条例～抜粋～

(目的)

第1条 この条例は、白岡市自治基本条例第15条第5項の規定に基づき、市民参画の推進に関し必要な事項を定めることにより、市民の参画機会の拡大及び市民の意見の市政への反映を図り、もって白岡市自治基本条例の理念を実現することを目的とする。

《参考》自治基本条例（抜粋）

(参画及び協働)

第15条 市民、議会及び行政は、協働によるまちづくりを推進するものとする。

2 行政は、まちづくりに関する市民の提案等の把握に努めるとともに、市民から提案等があったときは、当該提案等を尊重するものとする。

3 行政は、まちづくりの重要な計画等の策定又は改廃に当たり、市民の意見を聴くとともに、意見が提出されたときは、考え方を公表するものとする。

4 行政は、市民の意見を市政に反映させるため、幅広い市民の参画に努めるものとする。

5 前項に規定する市民の参画に関し必要な事項は、別に条例で定める。

市民参画手続とは？

1 パブリックコメント

行政が、施策等の趣旨、内容等を公表したうえで市民に意見又は提案を求め、それに対して市民が意見等を提出する手続です。

2 附属機関等の開催

審議会等の委員に選任された市民が、行政からの諮問等に対して意見を述べる手続です。

3 附属機関等の公募

行政は、審議会等の委員の選任に当たっては、原則として、公募により選考される市民を含めることとなっています。

4 市民説明会

行政が、施策等の策定過程において、その内容・状況等を説明するために開催する説明会に市民が参加し、行政と市民が意見交換を行う手続です。

5 市民アンケート

行政が、市民の意識や考えを把握・分析するために質問項目、期間等を設定して調査を実施し、それに対して市民が回答する手続です。